



仙台市立町マイスクール児童館
館長 小泉 節子

1 はじめに

私たちの児童館は、小学校の校舎内に位置しているマイスクール児童館です。そして、仙台市中心部に位置している児童館の周りには、商業ビルやオフィスビル・大学等が立ち並び、東日本大震災時には帰宅困難者が溢れた地域でもあります。転居者が多いというのも特徴で、有事の際に顔の見える関係作りが重要であると感じていました。

また、放課後児童クラブに在籍している小学生は一人で登下館することも多く、保護者が仕事から帰ってくるまでの間、一人で留守番をしている子もいます。自分の身は自分で守ることができるような知識と意識付けが重要であることも感じていました。

そこで、地域の防災士やSBL（仙台市地域防災リーダー）の協力・連携の下、児童館機能を活かして、子どもたちや子育て家庭の防災意識を向上する取り組みをしています。

2 乳幼児親子を対象とした防災講座

災害が起きた時に、乳幼児が家庭にいる場合どのようなことに困るのか、どのような備えをしておけばよいのかを知るための防災講座です。

内容は、ママ目線での備蓄のこと・災害食のこと・災害時の水のこと・非常持出袋に何を入れるか等、多岐にわたります。

“親子”という目線に特化し、土地勘のない人にもわかりやすいように地図を使用したり、育児支援の情報と組み合わせる等の工夫もしています。そして、児童館を利用することで、有事に避難所となる小学校に普段から足を運ぶことに繋がるというのは、マイスクールならではの利点となっています。

3 小学生を対象とした通学路 安全点検ワークショップ

小学生の子どもたちが、いざという時に地域の大人を頼ることができるように、地域を知るためのまち歩きを実施しています。子どもたちの自発性・自主性を持たせるため、ミッションカードを用意します。カードには「グループごとに避難場所・給水栓・帰宅支援ステーション・学童避難所など決められた場所を探し出し、公衆電話から児童館へミッション完了の電話をする」という課題が示されています。

児童館に戻ってからは、ミッションで見つけた場所、気付いたこと、感想などを地図に記入し、それをグループごとに発表してみんなで共有しています。

4 近隣の施設と連携した 避難訓練や防災講座

児童館の近隣には、子育て支援関係施設として、幼稚園・児童発達支援センターがあり、災害時の連携も視野に入れて合同で避難訓練を実施しています。児童館は自由来館の乳幼児親子、幼稚園は入園前の子育て支援利用者、児童発達支援センターは発



小学生公衆電話をかける体験



通学路安全点検ワークショップ



幼児親子対象防災講座



ハロウィンで地域巡り

達支援が必要な園利用者という、それぞれの利用者が一緒に訓練に参加しています。

5 地域と連携した取り組み

地域の方と子どもたち・乳幼児の保護者たちとの顔が見える関係作りを目指して、ハロウィンに地域を回らせてもらっています。普段はなかなか防災のイベントに参加しない子どもたちや親子も参加しており、地域防災にとって最も大事な「顔が見える関係づくり」ができるイベントです。

実際に商店の中に入って直接言葉を交わすことで、どのような人がいるどのような場所なのか知ることができます。協力店も老舗菓子店・町の電気屋さん・畳屋さん・自転車屋さん・飲食店・コンビニ・整体院・市民団体が実施しているあそび場・新しくオープンしたお店等多岐にわたって

ます。

6 取り組みを通して

これらの取り組みは、子どもたちが地域の保護者以外の大人たちとの関係を作る良い機会となっています。長年続けることで、震災を経験していない親子にも知識や備えを伝えることができています。

東日本大震災から月日がたち、児童館の利用者はますます震災を経験していない親子や小学生が増えてきています。防災意識向上につながる取り組みを、今後も無理なく継続していきたいと思っています。